

令和4年度岩城少年自然の家第2回協働会議 要旨

1 日 時 令和5年1月24日(火) 午前10時から11時半まで

2 場 所 岩城少年自然の家 大研修室

3 出席者

(1) 委員

三浦委員(会長)、菊地委員(副会長)、遠藤委員、安齋委員、高橋委員、菅原委員

(2) 県教育庁生涯学習課

佐々木副主幹(兼)班長、加藤社会教育主事

(3) 事務局(岩城少年自然の家)

田山所長、佐々木副主幹(兼)班長、鈴木主任社会教育主事(兼)班長、越前屋主事

4 議事概要

(1) 開会

(2) 岩城少年自然の家所長あいさつ

(3) 県生涯学習課あいさつ

(4) 出席者紹介

(5) 議事(議長:会長)

①報告

○今年度の岩城少年自然の家の運営について

○今年度の利用状況及び主催事業実施状況について

○来年度の運営ビジョンについて

○来年度の主催事業について

○来年度の運用について

②協議

(6) 閉会

5 委員からの主な意見

- ・ 公用車(バス等)の老朽化について、交通事故は命に関わることである。色々な補助金制度等を使って早めに整備した方が良いのではないか。
- ・ P T C Aでの活用について、小規模校で動きやすいところに重点的にアプローチしたほうが、その良さを広めやすくなるのではないか。広報について、児童数が多い学校は毎回紙に印刷しての配布はなかなか難しい。年度初めに大々的なものを紙に印刷して配布すれば、それ以降は関心のある方々はこまめにホームページ等を検索するのでは。
- ・ 広報について、学校の一斉メールを緊急時だけでなく利用するのはどうか。そうすれば興味のある方はホームページ等を見るのではないか。
- ・ 施設の老朽化について、いくら中身が濃い体験活動があっても、若い世代は綺麗な施設で気持ちよく寝起きすることを好むので、建物の改修も大事ではないか。
- ・ 主催事業について、おとなの遠足が生涯学習に通じており魅力的に感じる。大人が体験できる場を設けていただきありがたい。今後もぜひ続けて欲しい。